測量調査分野におけるUASの安全運航に関する講習会

～　きちんと学んで、しっかり身に付けよう　UASの安全運航　～

－開催概要－

　UAVあるいはドローン、我々はUAS(Unmanned Aircraft System, 無人飛行システム)という呼称で統一しようとしていますが、測量業界では10年近く前から地道に取り組んでおり、測量調査へ適用するノウハウを少しずつ蓄積しています。このような中、2015年4月22日の首相官邸屋上への落下事件を契機にその存在が国民に広く知られるようになるとともに、国家的取り組みが一挙に動き出しました。これらはUASの利活用推進には追い風ですが、事はそう簡単ではないようです。

　UASは、たったひとつの信頼性の低い要素によって暴走し、落下します。無人、軽量というのは利用者の都合で、UASが増加し、落下も増えれば、測量調査の本業への影響が大きくなるだけでなく、多くの人が苦痛を味わうことにもなりかねません。

　有人機では、厳しい訓練と試験に合格して国家資格を保持するパイロットや整備士、管制官などによって運航されているだけではなく、事故が起きれば運輸安全委員会が調査に入り、原因を究明し、改善の勧告を出します。これに対してUASでは、これらを一企業で担わなければなりません。しかしながら未知の領域であるため、それに対する教科書や講習会は存在しませんので自ら開拓する必要があります。

　そこでこのような状況を踏まえ、測量調査においては、トラブルをできれば起こさない、万が一に起きても最小限の被害で済むように、最低限知っておくべき知識を身に付けるための講習会を企画しましたので、奮ってご参加ください。

【主催者「UAS測量調査協議会」について】

　多くの課題を抱えたまま急伸するUASにおける測量調査関連事項を集約し、健全な発展を促すために本講習会の共催団体が設立した協議会（事務局：一般社団法人 全国測量設計業協会連合会）です。

CPD：　測量CPD　６ポイント　設計CPD　６ポイント

　　　　　　注）いずれも午前のみは２ポイント、午後のみは４ポイントになります。

申込期限：　2016年4月15日　（定員70名に達した時点で締め切りです。）

申込方法：（一社）全国測量設計業協会連合会・（公社）日本測量協会・（公財）日本測量調査技術協会の各ホームページにてご案内しています。

問合先：　一般社団法人 全国測量設計業協会連合会（事務局）　土谷　学

　　　　　 電話：03-3235-7271　　E-mail：m-tsuchiya@zensokuren.or.jp

測量調査分野におけるUASの安全運航に関する講習会

～　きちんと学んで、しっかり身に付けよう　UASの安全運航　～

－プログラム－

日時：2016年４月26日（火）

場所：測量年金会館　東京都新宿区山吹町１１−１

主催：UAS測量調査協議会

共催：( 一社)全国測量設計業協会連合会、(公社)日本測量協会、(公財)日本測量調査技術協会

後援：国土交通省国土地理院）、（一社）日本UAS産業振興協議会（JUIDA）

参加費：　共催会員・後援関係者　　10,000円　　　共催・後援以外　12,000円

プログラム

司会 （一社）全国測量設計業協会連合会　土谷　学

10:00～10:10　【ご挨拶】

　　　　　　　国土地理院　参事官　村上広史　氏

10:10～10:20 開会にあたり（講習会の背景と主旨）

　　　　　　　 (公社)日本測量協会　津留宏介

10:20～11:20　【特別講演】航空機の信頼設計・製造から見るUASの安全性確保

　　　　　　　東京大学大学院　鈴木真二　教授

11:20～12:20　リチウムイオンバッテリの構造と安全な取扱い方法

　　　　　　　(一社)電池工業会　技術委員長　竹田和弘　氏

12:20～13:10　－昼食休憩－

13:10～14:10　UASの安全運航を実現するための保守と操作について

　　　　　　　(株)ジーウイング　代表取締役　大塚達実　氏

14:10～15:10　ラジコン電波とラジコン協会

　　　　　　　(一財)日本ラジコン電波安全協会　専務理事　神林喜彦　氏

15:20～16:20　風の吹く仕組みとUASが飛行する領域における地表風の特性

　　　　　　　慶應義塾大学　准教授　　杉本憲彦　氏

16:20～17:20　測量調査に供するUASを安全に運航について

　　　　　　　(一社)日本写真測量学会　津留宏介

17:20～17:30　閉会にあたり（「UAS測量調査協議会」の事業内容）

　　　　　　　(公財)日本測量調査技術協会　吉永新一郎

　　　　　※なお、各ご講演タイトルは仮題となっており、当日は変更になることもございます。

－以上－